

6月定例会では、7人の議員から20件の一般質問が行われ、町政全般について、活発な議論が展開されました。特に今回は、山陰で初認定となったバイオマス産業都市構想や、市町村消滅危機で衝撃が走った人口減少・定住対策について多岐に渡り質問がされました。

内田 勇 議員 (10 ページ)

- ・人口減少対策について
- ・バイオマス産業都市構想について
- ・図書館と読書の振興について

1. 町政全般

- ①環境保全への森林の機能を高く保つ
- ②地域振興に貢献
- ③森林・林業と農業を結びつける方
- ④日本の中山間地の振興の見本を提

3. 目標(10年後)

- ①木材生産: 60,000t/年
- ②燃料用チップ生産: 4,500t
- ③炭酸ガス: 14,000t

5. 実施体制

- ・奥出雲町と奥出雲森林組合活用協
- ・中心となって推進するとともに、
- ・広域外務委員会が協賛・評価

塔村 俊介 議員 (7ページ)

- ・公民館等施設のルールについて
- ・学力テストの学校別公開について
- ・バイオマス産業都市構想の期待と地域波及効果について



石原 武志 議員 (11 ページ)

- ・観光施設の案内及び近隣市町との連携について
- ・人口増減・地方自治体の存続手段は



岩田 明人 議員 (8 ページ)

- ・バイオマス産業都市認定対応計画について
- ・奥出雲町の人口の増減をどう考えるか
- ・町職員、雇用、特殊資格者等の配置について
- ・当初予算後の状況について



内田 精彦 議員 (12 ページ)

- ・サイン整備事業について
- ・がん検診について



内田 雅人 議員 (9 ページ)

- ・1ターン者へのフォローで、移住者増と定着率アップの相乗効果を



川西 明徳 議員 (13 ページ)

- ・教育委員会の独立性と憲法が保障する教育の自由と自主性を守ることに
- ・高齢者が安心して暮らせる社会について
- ・デフレ不況打開のため、内需を活発にして地域経済の好循環をつくりだすことについて
- ・公契約法条例の制定について
- ・住民の生活・健康・福祉を守る自治体をつくり、自治体からワーキングプアをなくすことについて

